

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立八戸聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input checked="" type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	「日本限定アイスクリームを提案しよう」		
	単元(題材)の目標	発表についての考えを整理して、聞き手に分かりやすく提案することができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	対象生徒は主に音声言語で話し、リスニングや発音の際に聞き取りづらい音の確認として指文字を使うことがある。準ずる教育課程で学習し、卒業後は通常の高専への進学を希望している。また、将来パソコンを使った仕事に就き、アプリの開発をしてみたいと考えている。英語の授業においては、与えられた課題に対して教科書を参考にしながら一人で取り組むことができる。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	・タブレット ・Apple TV		
	使用したアプリケーションの名称	Google スライド		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	ICT 機器を使ってプレゼンテーションする活動を通して、将来のキャリア形成につながる活動と結び付け、継続したコミュニケーション力の育成につなげることができると考える。			
活用の状況と支援	活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書とあわせて活用することにより、学習内容を共有し易くなった。 教師と生徒とのやりとりが一つの画面上で行われるため、学習の修正やフィードバックが、以前に比べるとスムーズに行えた。 ALT など外部講師とのやりとりする機会を設けることができた。生徒が課題を進める上で、新しい気づきを生む機会となった。 		